

空知の有機農業の発展に向けて

～空知有機農業ネットワークの活動支援～

対象：空知有機農業ネットワーク会員

1 活動の背景

空知の有機農業の現状

- 南北に長く気候、土壌条件などが多様なため、地域ごとに特徴的な有機農業を展開
- ハウス園芸品目から水稻、大豆、露地野菜、果樹など多種多様な品目がある
- 有機JAS認証を受けている農業者は約30戸

空知の有機農業の課題

- 栽培技術の難しさ
慣行栽培に比べて情報が少ない、栽培体系、技術も未確立
- 担い手の確保育成
除草など手間がかかる有機農業に取り組む農業者は減少傾向
- 有機農業に対する正しい理解の促進
有機農業の定義、有機JAS認証制度、コストに見合う価格への理解

空知有機農業ネットワークの設立（平成25年より）

目的：有機農業を実践している農業者及び有機農業に関心のある農業者の仲間づくりと情報交換を行う場をつくる（令和4年現在、会員48名）

主な活動内容：夏期研修会、冬期研修会の開催

ネットワークを核に地域の有機農業の取り組みを推進！

2 活動経過

- 相談役会…相談役(会員より選出)と一緒に有機農業者のニーズに合わせた事業企画を実施。
- 夏期研修会…会員ほ場の視察やその時々課題に応じたテーマで現地研修会を実施。
- 冬期研修会…有機農業に関する新たな技術や研究などの座学研修、意見交換会を実施。

3 成果の具体的内容

■夏期研修会…会員ほ場の視察



循環型農業を目指して
有機農業で新規参入（R1）

普段、他の農場を見る機会は少ないため、熱心にほ場を見る参加者たち。活発な情報交換も。



有機子実コーンの試験栽培
事例（R2）

会員間のつながりを深める機会にもなった。



消費者と連携した野菜宅配の
取り組み（R3）



有機たまねぎ栽培と土作り
（R2）

■夏期研修会・・・テーマ別研修（農商工連携・食育を学ぶ）



オガニックパン製造工場を視察。農商工連携に至った経過や有機小麦の需要動向を聞く。



作家の森久美子氏による食育の講演。「食」と「心」を育む有機農業のあり方について考える。

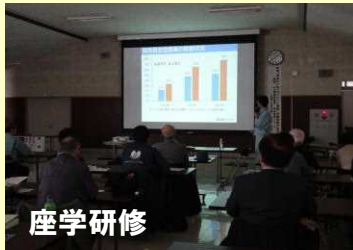


農商工連携の事例を学ぶ (R1)



食育を考える (R3)

■冬期研修会・・・座学と意見交換会



座学研修

農産物のブランディングや土づくり・病虫害対策の新技术などを学ぶ。

※企画していたが、R3～4はコロナ感染拡大で中止、R5は悪天候で中止となった。



冬期研修会での意見交換会

参加者・講師を交えての意見交換会。個々の経営課題の解決のヒントに！

■令和4年 有機農業技術に関する現地研修会in空知(妹背牛町)

※道庁食品政策課・道総研農業研究本部との共催で実施



妹背牛町の有機JAS法人の取り組みを学ぶ。参加者どうして活発に情報交換する場面も。

道内各地より80名が参加。悩みが多い水稻除草技術について研鑽を深めることができた。

ネットワークを通して栽培技術の研鑽、仲間づくりが進んでいる。

4 今後の課題と対応

■空知管内の有機農業推進に向けて

- ① 新たな有機農業志向者の掘り起こし
- ② 個々の経営展開に応じた栽培技術、販売戦略の確立
- ③ 有機農業に対する慣行農業者の理解、関係機関の理解
- ④ 消費者や実需者に対するPR促進